

トップエスイー ソフトウェア開発実践演習



情報システム運用におけるLC4RIと他手法の比較

富士通株式会社 株式会社デンソー NTTデータ先端技術株式会社

林敬祐 小浜 明日香 田畑 俊介

これまでの取り組み

LC4RIとは、Jupyter Notebookによりコード・技 術情報・実行結果を一元管理し、情報システムの 運用・構築を行う手法である。

これまでは運用・構築の特定の場面にLC4RIを適 用した有用性の評価が中心であり、従来手法(テ キスト手順書とターミナルでの作業)と比較した取り 組みはなかった。



今回の取り組み

LC4RIと従来手法の比較のため、LC4RI初学者を中 心に集め、次のワークショップを実施した。

LC4RIとGoogle Docs(従来手法)の2つの手法で AWS上の情報システム構築/手順書メンテナンスを 行い、被験者の発話・行動を観察した。

それらをKJ法で分類、分析した観点から、各手法の優 位性を検証した。

コマンド実行手法

Google Docsの場合



「手入力」「コピペ」 で実行



コピペミス によるエラー



リソースの 重複作成

Google Docsの場合



実行結果から 貼り付け



コマンド実行結果の期待値

結構大変ですね 結構なボリュームですね

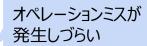
骨が折れる

LC4RIの場合



セルの値を そのまま実行





コピペ不要でミスがない &作業が早い

Notebookでは同様の問題発生せず

LC4RIの場合



実行結果が 自動で残る



一人で作業できるレベルの品質で修正完了

手順書修正のタイミング

【1日目】Google Docsの場合

【2日目】LC4RIの場合



システム構築作業







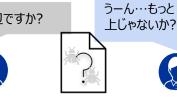






バグを見つけ次第、即修正

手順書メンテ作業 この辺ですか?



バグの箇所と内容が曖昧



バグ修正は不要

Notebookでの運用時の学習コスト

学習コスト

1人あたり30分程度の学習時間で使いこなし

被験者の捉え方

場適用ができそう!

未経験者でも導入に前向きで現

手順書をもっとよくする活動を随時やっていきたいので 、その中で(LC4RIを)使いたい

Notebookは無料なんでしょうか



Notebookでの運用方法って別途ご相談したりでき るんですかね、長久先生とかに。



LC4RIの導入を検討している様子が伺えた